



堰野端 展 雄
(高志会)

中山間地域に診療所を設置

する考えは

設置は難しいと考えている

議員 十和田市と十和田湖町が合併し行政区域が拡大になっている。道路事情が良くなり病院が近くなったとは言え、中山間地域は高齢者が多く、自動車の運転もままならない方がふえている。このような中、旧十和田湖町地域の医療を一手に引き受けてきた民間病院が外来診療を閉鎖することになった。このことにより当地域唯一の外来診療がなくなるため、住民の生活に大きな影響を及ぼしている。行政区域の広い当市にとって中山間地域の医療体制を見直す時期と思われるが、そのひとつとして診療所を設置する考えは。

健康福祉部長 これまで旧十和田湖町地域の医療を担ってこられた医療機関が平成二十四年三月末

で休止することにより、地域住民の方々にとって不便になることは認識しています。しかし、診療所を設置するには医師確保と医療機器の整備等が必要であることから、設置は難しいと考えています。このため健康相談や健康教室を継続し、医療機関等との連携のもと、当該地域市民の健康支援を積極的に行っていきま

す。このため健康相談や健康教室を継続し、医療機関等との連携のもと、当該地域市民の健康支援を積極的に行っていきま



旧十和田湖町地域の医療を担ってきた民間病院

議員 診療所の設置が困難な場合、巡回診療を

することはできないか。

健康福祉部長 巡回診療は、青森県の保健医療計画に基づき、へき地の無医地区等において行われていますが、当市はへき地の無医地区がないため、実施は困難であると考えています。

議員 十和田地区食肉処理事務組合では、伊藤ハム(株)が要望する施設を整備することが困難との結論が出たと聞いている。この際、十和田市として伊藤ハム(株)を誘致するべきと思うが、その考えは。

市長 伊藤ハム(株)にはこの地域の畜産振興に大きく貢献していただきたくと考えており、十和田市として、速やかに誘致したいと考えています。

六ヶ所再処理工場の安全性は 国、県の動向を注視し、 多角的に検討していく



畑山 親 弘
(市政・社民クラブ)

について検証していません。県では、その検証結果をもとに、昨年十二月に、県内の原子力施設にかかる緊急安全対策について、最善の努力をもって進める事を前提に了すべきものと表明しています。市としては国、県の判断を尊重しながらも市民の安全確保のため十分に検討していかねばならないと考えています。

議員 六ヶ所村に立地されている、核燃料再処理工場等の安全性についてどのように考えているか。

市長 福島原発の事故を受け、国は原子力関連事業者に対し、緊急安全対策の指示を行いました。昨年六月には青森県原子力安全対策検証委員会が設置され、安全対策

議員 原子力事業者と安全協定を締結する考えは。

総務部長 緊急時に迅速な対応ができるよう、国、県の対策を踏まえ安全協定の原子力災害対策について検討したいと考えています。

議員 農畜産物のブランド化及び付加価値化、販売強化策への意気込みは。

市長 主要農産物のブランド化や農商工連携による加工などを支援する



十和田市の誇るおいしい農産物

議員 担い手不足の中、集落営農の取り組みは正しいと考えるが、今後どのように支援していくのか。

農林部長 これまで、各組織との座談会を開催し意見交換等を行いました。今後は、集落個々の状況を把握するため、新たに相談員を配置し、各集落営農組織に担当職員を張り付けるなど、集落から要請があった際に指導、助言できる体制を整えていきます。